

# 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	子どもサイエンスフェスティバル海老名大会			
題名・副題	発電と電池の体験デモンストレーション			
月日・時間	2020年2月1日(土) 10:00~15:00			
開催場所	えびな市民活動センター ピナレッジ交流館			
部会・講師名	エネルギー部会 鈴木勝男	参加数	312名	講師数 9名
写真				
	多くの来場者で賑わう会場		手回し発電で電球・LED球の点灯に挑戦	
				
	講師陣が備長炭電池作りを指導		手のひら発電でモーター・プロペラを回す	
成果解説	<p>恒例の「子どもサイエンスフェスティバル海老名大会」に、当会は昨年が続いて、手回し発電や備長炭電池など4アイテムを出展しました。</p> <p>①「手回し発電機で電球つくかな」では、自分の力で白熱電球とLED電球をそれぞれ点灯させることにより、消費電力の違いを体感してもらいました。②「炭の電池」を実際に作る体験では、備長炭とアルミホイルで電池を作って、オルゴールを鳴らしたり、LEDを点灯したり、色々なことが出来ることを楽しんでもらいました。③「手のひらびっくり発電」では、ゼーパック素子に手のひらを乗せるだけでモーター・プロペラが回りだす様子を見て、子どもたちは保護者とともに驚いた様子でした。(ゼーパック素子：二種類の異なる半導体を両面合体し、その両面の温度差で起電力が発生する現象を応用した電子部品)④「水素燃料電池」では、実験セットを使って水を電気分解して水素を作り、その水素を燃料にしてモーター・プロペラが回ることを実演しました。</p> <p>当日は快晴に恵まれたこともあり、開催時間を通して来場者が多く、当会ブースにも300名以上の子どもと保護者が訪れ大盛況でした。</p>			